

2014年7月18日

媒体社 各位

JFN（全国FM放送協議会）事務局
TOKYO FM編成制作局

「JFN賞2014」各賞決定！

■CM大賞

FM大阪「Tokyo Style」（120秒）

■統一部門 川口技研賞

FM沖縄「オジイのアミド」（40秒）

■JFN学生ラジオCMコンテスト2014 最優秀賞

井上望伯さん（大阪芸術大学／40秒）

TOKYO FMをはじめJFN（全国FM放送協議会）加盟38局が、放送活動並びに新規事業の活性化と質的向上を目指し、社会的影響力や企画力からJFNグループ全体の発展に大きく貢献した局を表彰する「JFN賞」各賞が決定いたしました。

本年度「JFN賞2014」の表彰式は7月17日（木）、TOKYO FMホールで行われ、今年の「企画部門」大賞には、TOKYO FM「リスナーの可視化を実現『Skyrocket Company』」が選ばれました。また優秀賞には、TOKYO FM「『NISSAN あ、安部礼司』連続生ラジオドラマ ギネス世界記録TM達成」、FM福岡「霧島酒造提供 Qリーグネット番組10周年&番組イベント11回目 レギュラー番組『匠の蔵～ワーズ オブ マイスター～』番組イベント『匠のつどい～ミーツ オブ マイスター～』」がそれぞれ選ばれました。

そして、「CM部門」の最優秀作品に贈られる「CM大賞」は、FM大阪制作の「Tokyo Style」（120秒）、第1部門最優秀賞（20秒以内）には、FM栃木制作の「どんな人間に」（20秒）、第2部門最優秀賞（21秒以上）にはTOKYO FMの「生きるコツ」（60秒）がそれぞれ選ばれました。

さらにJFN加盟各局が制作し、優秀作を決する「統一部門賞」では、今回は株式会社川口技研様の協賛を得、「川口技研賞」を競い、FM沖縄の「オジイのアミド」（40秒）が選出されました。

特別審査員独自の視点から高い評価を認められた作品に対して贈られる弘兼憲史賞、谷山雅計賞、箭内道彦賞には、FM福岡制作の「天才家族」（20秒）、FM新潟制作の「先輩」（40秒）、TOKYO FM制作の「おわび」（20秒）がそれぞれ選ばれました。

今回、3回目となった全国の学生が自身の学校をPRするラジオCMコピーを競う「JFN学生ラジオCMコンテスト2014」は、大阪芸術大学の井上望伯さんが最優秀賞を、高知大学の和根崎友梨子さん、志学館大学の稲森公彬さんがそれぞれ優秀賞を受賞しました。

今回の「JFN賞2014」について、特別審査員長の弘兼憲史は冒頭で、自身の特別審査員長も含めた今年の審査員の体制について「前回までの重鎮2人（故・天野祐吉氏、小野田隆雄氏）から、箭内道彦、谷山雅計といった油が乗り切ったクリエイターとコピーライターという2人になった。プロである2人に囲まれて、私はいわば『仲裁役』。私は70年から73年の3年間、松下電器で宣伝の仕事をしており、当時も会議の仲裁役が仕事だった（笑）。審査は紛糾するどころか、楽しいトークショーのようだった。今後もこのような楽しい審査を続けていきたい」と述べました。自身で選出した弘兼憲史賞受賞作品、FM福岡制作の「天才家族」（20秒／広告主：博多金の隈ゴルフヒルズ）については、「普通のゴルフ場ではなく、ファミリー向けのゴルフ場の訴求。

『パー！』の言い方とにかくインパクトがあり、これに決めた。またFM福岡はいい作品がたくさん録っていて、次点という形でかなり惜しいものがあったので、弘兼賞でぜひ選出したいと思った」と述べました。

特別審査員の谷山雅計氏は、冒頭のあいさつで「私事だが、妻は故・天野祐吉さんの元部下。さらに娘は天野さんが名付け親。そんな天野さんのあとを継いで審査員になれたことは大変名誉なこと」と述べました。さらにJFN賞2014については「仕事柄、いろんところで審査員をするが、(今日の会場のように)審査員を全国のFM制作者が囲む、こういう審査の形はあまりない。全国のラジオ局の方々に囲まれて、まるで甲子園の審判みたい、心地よい緊張感を味わえた。審査はとても楽しかった」と述べました。

「内容はいろんなレベルのものがあるが、ラジオ会社の中で、CMを自主制作する文化があることは素晴らしい。テレビでは、自社にコンテンツを作る知恵があるにも関わらず、テレビCMはほとんど作られない。素晴らしい知恵を自社の中に持っている。これからもそれを、ラジオ全体を活性化させる原動力としてほしい」と加えました。自身で選出した谷山雅計賞授賞作品、FM新潟制作「先輩」(40秒/株式会社川口技研)に関しては「こうしてあらためて今聞いて、いいCMだな、と。網戸というものを、『虫を人間から守る』という視点でとらえる。そういう視点、ものの見方に気づかされ、心豊かになる。ものを買うとき気持ちよくなる。そしてそれが広告の大切な役割」と評しました。

また、同じく特別審査員の箭内道彦氏はJFN賞2014について「とても楽しい審査だった。天野さんが呼んでくれたのだな、と思う。僕は『群雄割拠』という言葉が好き。全国には、いろんなおもしろい人、モノ、コト、事象があり、それを自慢し合えるこのJFN賞は、とても素晴らしい賞だと思う」と述べました。自身で選出した箭内道彦賞受賞作品TOKYO FM制作「おわび」(20秒/味の素株式会社)については「肉じゃが、おふくろの味じゃなくて女子高生の味、というオチを聞いてがっかりする人もいるし、食べてみたいと思う人もいる。受け取り方がそれぞれあっていいと思う。世の中が今、とかく違う者同士を認め合えない中で、全国のラジオ局各局がいろんな個性がお互いを認め合う、JFNのすばらしさを象徴している作品なのではないか」と述べました。

各賞の結果は次の通りです。

◎ JFN賞・企画部門

「JFN賞・企画部門」は、加盟各局がエントリーした年間の放送・事業・営業活動事例の中からJFN各委員会委員長から成る「JFN賞選考委員会」にて選定されます。今年は、エントリー23社43件の中から、以下の各賞が決定しました。

■大賞

TOKYO FM/リスナーの可視化を実現『Skyrocket Company』

20代の働く若者をターゲットに昨年4月にスタートした「Skyrocket Company」。“明日への狼煙を上げるラジオの中の会社”という設定のもと、パーソナリティが上司、リスナーが社員として番組が進行する。リスナーは番組公式アプリを通じて個人情報登録すると、番組の様々な活動に参加できる。会員登録時に、年齢・性別・居住地などのデモグラフィック属性をデータベース化し個人まで特定できるリスナーの“可視化”を実現した。2014年5月現在で社員登録数は15,000人を超え、掲示板への書込みは1日千数百件に上がっている。

(営業部門申請)

■優秀賞

TOKYO FM/「NISSAN あ、安部礼司」連続生ラジオドラマ ギネス世界記録™達成

「NISSAN あ、安部礼司」が放送400回を突破したのを記念し、12月22日(日)に横浜の日産グローバル本社ギャラリーで「8時間連続の公開生ラジオドラマ」を実施。岩手県の臨時災害FM局「かまいしさいがいエフエム」との2元中継で完全生放送することにより、「8時間23分31秒」のギネス世界記録™(Longest Radio Play部門)を達成。IPサイマルを活用し全国に震災復興の

機運を改めて喚起した。

(番組部門申請)

■優秀賞

FM 福岡／霧島酒造提供 Q リーグネット番組 10 周年&番組イベント 11 回目

レギュラー番組「匠の蔵〜ワーズ オブ マイスター〜」

番組イベント「匠のつどい〜ミーツ オブ マイスター〜」

2004 年 4 月に九州 7 局ネットで 5 分番組の放送を開始し、さらには沖縄にも拡大、今年の 4 月で 10 周年を迎えた。架空のルポライターが九州・沖縄各地の食材・料理・工芸を取材するラジオドラマの形式で、匠のインタビュー（金言）が流れる内容となっており、これまで取材した匠の方々は 460 名を超える。放送という一過性のものを後世に残していく姿勢がこれまでにない企画。取材した匠を招待してのイベント「匠のつどい〜ミーツ オブ マイスター〜」を具現化し、春秋の年 2 回、各県を順に回り 11 回を迎える。会報誌や HP も充実させ利便性に努めている。

(営業部門申請)

■奨励賞

FM 仙台／Date fm Bright ★A 「想像ラジオ」

〜いとうせいこうが語る、今、文学だからできること〜

2013 年 12 月 22 日（日）19：00～19：55O.A

いとうせいこう著「想像ラジオ」は、想像力という電波を通じて語りかける東日本大震災の犠牲者を描いた小説。芥川賞候補にもノミネートされ、11 万部を超えるベストセラーとなった。その内容から、いとう氏は誤解を恐れ、ほぼ取材に応じることは無かったが、社会的な反響や多数の読者からの要望を受け、今回だけという条件で本人が作品を語る機会を仙台で設定。被災者等に対談相手に開催されたそのイベントの様相を収録した。FM 仙台だけで放送が実現。

(番組部門申請)

■奨励賞

FM ぐんま／FM ぐんま『試し聴き』〜ラジオ CM は楽しいの巻〜

「ラジオ CM の魅力」を楽しく伝えることを目的に、ラジオ広告初心者向けに営業ツールとして制作。リスナーズボイス・スポット CM・番組提供・各社 CM サンプル・お客様インタビュー等全てが音で楽しめるよう CD 化。オール営業部員出演による、エレクトロニカ風味のヘタウマ感満載の仕上がりとなり、音楽を聴くような感覚で楽しめるツールとなった。

(営業部門申請)

■特別賞

FM 沖縄 / 「ゴールデンアワー」 西向幸三アナ ギャラクシーDJ パーソナリティ賞

2010 年 1 月 1 日、新しいラジオ局「ゴールデンラジオ放送」開局！「ゴールデンラジオ放送」が送る番組「ゴールデンアワー」は従来の型にはまらない自由な発想で、ラジオと遊び、リスナーと一緒に番組を制作するため、リスナーを「社員」と位置付けて積極的に番組の企画・制作に関わってもらおう。そのゴールデンアワーの局長、西向幸三アナウンサーが、第 51 回ギャラクシー賞 DJ パーソナリティ賞を受賞。番組には、県内に留まらず、全国から多くのお祝いメッセージが届いた。

(番組部門申請)

■地域賞

FM 青森／白神山地 世界自然遺産登録 20 周年記念番組 「世界自然遺産 白神山地」

2013 年 12 月 11 日、日本初の世界自然遺産として登録されて 20 周年を迎えた白神山地。多くの観光客を取り込んだ時期もあったが、次第に減少し、今では観光誘客か自然保護かに揺れる。その一方で、関心のない県民が多いのが現状。目を閉じると、そこに広がるのは白神山地の大自然と未来。そもそも登録に至る経緯は？ 20 周年を迎える今、世界自然遺産白神山地について改めて考えてみた。

(番組部門申請)

■地域賞

FM新潟／番組・イベント連動 O2O2O 企画

スマートフォンアプリ「Stac」と連動した特別番組&イベントのキャンペーンを実施。全国で初の試みである、ラジオ番組の生放送中に音声認識をリアルタイムで実施する取り組みが大成功。これは番組を聴いて（OnAir）、スマホのアプリ上でスタンプを集め（OnLine）、イベント会場でリフト券等を購入する（OffLine）というもの。ラジオとの親和性が高いスマートフォンのアプリを使って、リスナーにいつも以上に楽しめる番組を提供した。今後来る、V-Low 時代へ向けた新たな取り組み（O2O2O）である。

（番組部門申請）

■地域賞

K-mix／徳川家康公顕彰四百年記念事業 プラウド presents K-mix 開局 30 周年記念 42.195 km リレーマラソン in エコパスタジアム 2013

K-mix に今までなかったタイプのスポーツイベントを実施。1 チーム 4 人以上 10 人以内のメンバーでタスキリレーを行い、1 周 2km の周回コース 21 周と 195m の合計 42.195km（フルマラソンの距離）を完走する。参加資格は“独力で 1 周 2km を完走できる男女”、走る順番や 1 回に走る周数などは自由。タイムは計測チップ入りタスキのリレーによって自動計測。既存のマラソン大会や区間の決まっている駅伝とは異なり、自由さ溢れ、老若男女が参加出来る新しいタイプのランニングイベント。

（営業部門申請）

■地域賞

FM とやま／特別番組「ここに生きる～限界の先に見える風景～」

今や「過疎」や「高齢化」は全国共通のテーマと言えるだろう。この特別番組では、限界集落で新しい価値観や生きがいを見つけ、主体的に生きる人々の暮らしをクローズアップした。地域の活性化に繋がりたいと奮闘する「照子おばあちゃん」。奥山ならではの価値を見出し仕事に励む「健次さん」。限界集落こそ「夢の楽園」という「めぐみ」さん。それぞれの生きる力には迫力があつた。答えを見つけ出すのは私たちひとりひとりです。この番組がそのきっかけになればと願っている。

（番組部門申請）

■地域賞

FM 香川／エフエム香川卒業キャンペーン 2014 あなたにありがとう

学生生活の間にお世話になった人（先生・仲間・両親など、在校生からは卒業生に向けて）への感謝のコメントに、BGM・協賛社を付けた 40 秒素材を約 100 本（例年 100～110 本）制作し、3 月中に集中的にオンエア。今年で 6 年目になり、春の風物詩として定着している。また、キャンペーンソング（BGM）は、例年、地元のシンガーソングライター「舞子」さんが書き下ろしたものを使用。

（営業部門申請）

◎JFN 賞・CM 部門

JFN 加盟 38 社の CM 制作の向上と CM を通じて地域社会の文化に貢献することを目的として優秀 CM 作品を表彰するのが「JFN 賞・CM 部門」です。

今年の審査対象作品は 2013 年 6 月 1 日から 2014 年 5 月 31 日までの間、JFN 加盟各局が自社で企画または制作、放送した CM です。斬新な発想や演出と技法、地域性、公共性、影響力（CM 効果）が審査基準となります。エントリー総数 125 本のなかから大賞のほか、部門各賞（20 秒以内、21 秒以上）、加盟各局が協賛企業の CM 制作を競う統一部門（株式会社川口技研「川口技研賞」）が決定しました。特別審査員長の弘兼憲史氏（漫画家）、そして、谷山雅計氏（コピーライター）、箭内道彦氏（クリエイティブディレクター）の特別審査員をはじめ、企業審査員、JFN 各局の CM 制作担当者 38 名により公開審査会が行われ、以下の各賞が決定しました。

【JFN CM大賞】

FM 大阪 「Tokyo Style」(エフエム大阪 社告/120 秒)

【第1部門 最優秀賞】※20 秒以内 (エントリー数=53 本)

FM 栃木 「どんな人間に」(下野新聞社/20 秒)

【第2部門 最優秀賞】※21 秒以上 (エントリー数=34 本)

TOKYO FM 「生きるコツ」(味の素株式会社/60 秒)

【統一部門 川口技研賞】 エントリー数 40 秒=38 社 38 本

FM 沖縄 「オジイのアミド」(株式会社川口技研/40 秒)

【JFN学生ラジオCMコンテスト2014】

最優秀賞 井上望伯さん(大阪芸術大学/40 秒)

優秀賞 和根崎友梨子さん(高知大学/20 秒)

優秀賞 稲森公彬さん(志學館大学/40 秒)

【奨励賞】

○地域ブロック賞

- ・北海道・東北 FM 北海道 「『北海道品質 ごはんの素』中継」(北海道品質/60 秒)
- ・関東・甲信越・静岡 FM ぐんま 「FM ぐんま 特殊詐欺対策キャンペーン『政子の場合』
(FM ぐんま (自社キャンペーン CM) /90 秒)
- ・中部・北陸 FM とやま
「平成 25 年度 救急医療 適正受診啓発『あなたの気持ちで助けて下さい』」(富山県/20 秒)
- ・近畿・中国・四国 FM 山陰 「3 時の太陽光」(東洋ソーラー株式会社/10 秒)
- ・九州・沖縄 FM 鹿児島 「スローモーション」(鹿児島ターミナルビル/60 秒)

【制作者審査員賞】

TOKYO FM 「生きるコツ」(味の素株式会社/60 秒)

【弘兼憲史賞】

FM 福岡 「天才家族」(博多金の隈ゴフルヒルズ/20 秒)

【谷山雅計賞】

FM 新潟 「先輩」(株式会社川口技研/40 秒)

【箭内道彦賞】

TOKYO FM 「おわび」(味の素株式会社/20.秒)